

地域の皆さまの、温かいご支援をいただき続けて『嵐山東ふれあいだより』は、50号を迎えました！

1995年7月15日、当広報誌は産声をあげました！
B4の淡いピンク色の紙には、住民互助・地域で支える福祉に関する記事で、埋め尽くされていました。

トップ記事は、「安心して老いるために」。編集者は当時の社協会長の尾上妙子さん。その広い人脈と情報量を活かして、地域の皆さまに役立つ福祉の情報や、地域で開催される催しなどを、分かりやすく発信してきました。

その後、主に、高齢者福祉、障害者福祉に目線を置き、配食サービスや、デイサービス、手話教室、車椅子体験などの活動を誌面に載せ、地域の皆さまに知っていただき、そして参加いただけるようにと、お願いしてまいりました。
嵐山東社会福祉協議会が生まれて30年、地域の世代交代も進み、抱える課題も変化してまいりました。

災害や気候変動、未知のウィルス、少子化……

「隣は何をする人ぞ」にならないためにも、地域のことを知り、関心を持っていただき支え合える地域であるために！

私たちは、微力ながらも、少しでもお役に立てたら——との思いで、これからも『嵐山東ふれあいだより』を、発信し続けてまいりたいと思っております。
皆さまの、ご理解ご鞭撻を、どうかよろしくお願いいたします。

嵐山東社会福祉協議会・編集部

嵐山東 ふれあいだより

発行
嵐山東社会福祉協議会

責任者
中路 枝里子



社会福祉協議会
賛助会員(賛助会費)募集のお願い

自治会単位だけでなく、
個人も受け付けています。
よろしくお祈りします。

中路(090-9112-2605)まで
京都市西京区社会福祉協議会

嵐山東ふれあいだより50号発刊によせて
嵐山東自治連合会会長 河原 裕
日頃は嵐山東学区の諸事業にご協力賜りましてありがとうございます。さて、この度はふれあいだよりが発行50号目を迎えられるということで、謹んでお祝い申し上げます。この間の関係者の皆様のご努力に敬意を表します。
嵐山東の福祉の分野での情報発信を一手に引き受けて学区の皆さまの信頼も厚いことと思っております。

コロナ禍で、これまでの活動のほとんどが出来なくなり、悔しい思いを分け合ってお互いに耐えてきました。ようやくここにきて落ち着きを感じますが、まだまだ油断はできませんね。おかげさまで今年度、嵐山東学区は創立50周年を迎えました。
この節目の年を皆様方と共に祝うことができることに感謝しつつ、また新しい一歩を元気に踏み出したいと思っております。
よろしくお祈りいたします。

広報誌『ふれあいだより』50号に寄せて

西京区社会福祉協議会

事務局長 野原孝彦

嵐山東ふれあいだより第50号の発刊。誠にありがとうございます。
1995年7月の創刊以来、約30年が経過しましたが、社会的孤立、生活困窮、引きこもりの問題など、地域の福祉課題がより一層複雑化・多様化し、その課題が依然と比べて、周囲から見えづらくなっていることを実感しております。

人と人のつながりで未来を切り拓く

嵐山東小学校校長 河崎由佳

去る9月23日に創立50周年を迎え、あらひがの皆様と共に式典とお祭りでお祝いすることができました。感謝と敬意を表します。
式典で「変わらないもの」という歌を合唱しました。

50年後に向けて、地域の皆さんと「人と人のつながりを大切にしてあらひがの未来を切り拓いていく子どもを育みたい」と考えています。
今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお祈りいたします。

目に見えるものは時の流れと共に変わっていくが、人と人のつながりは記憶の中にある景色のように変わらぬものです。大切にしたいことです。



手を取り合って 笑顔で暮らせる地域づくり

嵐山東民生・児童委員協議会
会長 河原保男

日頃より嵐山東民生児童委員会協議会には多大なるご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。いま社会は、少子高齢化が急速に進んでいます。ライフスタイルの変容による家族形態の多様化など、人と人のつながりも希薄になってきています。コロナ禍がそれに追い打ちをかけ、育児、介護障がい、貧困など複合化した課題を抱えながらも誰にも相談できず地域で孤立してしまう人々がいま。安否確認や生活相談など、地域住民に寄り添った温かな支援を、無理をせず、出来ることから地道に行う。
誰もが笑顔で安心・安全に暮らせる地域づくりを、民生、社協、老人福祉員、包括支援センター、児童館等と手を取り合って、活動を推進してまいります。
皆様の一層のご支援をお願いします。

「ふれあいだより」創刊50号によせて
（下欄へ続く）

これからも楽しみに

嵐山東老人クラブ桜寿会

会長 中嶋貞一

社会福祉協議会や協力者の方々が、地域の児童や高齢者を対象に認知症に対する正しい知識を学ぶ研修講座（老人クラブにとっては、身近に迫った問題）を開いていただきました。

また、フレイル予防のために、筋トレ教室で、健康維持に繋がるために必要な運動を教えてくださいたいです。

常に、地域全体の安心安全の見守り活動を行なっていたいただき、有難うございます。

ふれあいだよりは、地域の情報を発信する唯一の情報誌で、毎回楽しみにしています。これからも届けてほしいです。

ご縁があり、同じ地域で生活する仲間として、老人クラブや、町内会に参加していただき、一緒に活動しましょう。

副会長（総務） 和田義幸

1995年7月に創刊以後30年近くとなります。

このことは諸先輩、先人の皆様のご活躍などによるものと感謝申し上げます。

さて、私も社協の活動に参加して10年近くになりますが、この事は現役員の皆様のおかげであると思えます。種々の行事にも参加できるようにとは思いますが、迷惑をおかけしております。

ご存知のように、他の地域同様に、当学区も高齢化が進んでいて、

これからはいま以上に、社協の役割が重要になるかと思えます。皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

副会長（防災） 谷田 敦

ふれあいだよりも1995年7月の創刊から29年となりました。

地域の皆様、小学校、児童館、各種団体のご協力を得ながら、主な取り組みとして、高齢者（独居、介護予防）障がい者、子育て中の方々などを対象とした、福祉活動を行なっております。

今後も、地域の防災訓練や講習会、各種イベント開催の時には、できる限りの協力体制で臨むなど、積極的な活動を続けてまいります。

地域の皆様にも、事業へのご参加を、ぜひお願いいたします。



筋力アップトレーニング

健康寿命を、伸ばしましょう！

副会長（筋トレ） 森田 秀子

当学区も高齢化が進み、おひとり住まいの方も多くなっています。

いつまでも自分らしく生きていきたいと、皆さま思っております。

第一回目から指導してまいりました。元気に参加される方々を見ていると、私自身も嬉しく思います。



シニアサロン

新しい仲間とおしゃべりしましょう！

理事 辻井初江・藤岡純子

シニアサロンは、月に一度、児童館に集い、お茶をいただきながら様々な分野のお話を伺ったり、歌ったりと、楽しい時間を過ごしています。

一度覗いてみてください

色々な方々とお話しをしに児童館まで、運動を兼ねてぜひ一度覗きにきてください。皆さん大歓迎です！



そのほかにも、お買い物や交流出来る事業が催されます。地域の皆様と、お顔を合わせる機会として参加いただくと嬉しいですね。私たちも、体に気をつけて、出来るだけ長く社協活動に参加させていただけたら、幸せなことだと思っております。

理事 中野 緑

社会福祉協議会の活動にボランティアとして参加するよ



トレーニングを、

第一回目から指導してまいりました。

元気に参加される方々を見ていると、私自身も嬉しく思います。

平均寿命まで、いかに元気に過ごすか—それは毎日の生活にあります。運動を取り入れ、規則正しい生活を、ご自分を大切にしましょう！

配食活動はウィンウィンの関係

配食サービス

監事（配食） 林田 廣子

うになって、早や10年になります。退職したのと知り合いの人の誘いがきっかけとなりました。それまでは、忙しい日々で、地域の方々との交流も少なく、退職後は自分なりに取り組める事はな



社協のお弁当作りは、食中毒に気をつけて旬の食材を使って、参加者みんなが教えあったりしながら和気あいあい楽しく作っています。

月1回ですが、「美味しかった！来月も楽しみにしているね」と、言ってくださるのを張り合いに、頑張っています。

私は食べることは大好きでしたが、作ることは苦手だったので、でも皆さんに色々教わり、今は調理が苦にならなくなりました。

作ることも、お届けすること、どちらのボランティアでも、一度見学がてら、参加してみてください。

喜んでいただけて、私もお料理を教わる。お互いウィンウィン

の関係です！
第2土曜日（8月・9月お休み）、小学校の家庭科室をのぞいてみてください。



講演の後、介護用品の紹介や車椅子体験も実施。いつか自分も...と、皆さん、熱心な眼差しで質問されたり、車椅子の試乗をされていました。

私らしく生きるために

評議員・福祉協力員研修

介護保険では、通常ケアプランに沿ったデイサービスや訪問介護などを、決まった曜日決まった時間に支援を受けることになっています。



今回の研修では、そういった決まった支援だけではなく本人や家族の緊急時にも対応してもらえという施設「スイート嵐山」の施設長である園實一博氏に「小規模多機能型居宅介護」の魅力、話していただきました。

老いても、自分らしい日々を過ごせたら...そんな思いを実現出来たら、嬉しいですね。